

# 弘前市総合計画 前期実施計画

2019年3月策定  
2020年3月改訂  
2021年3月改訂

## 目 次

参考：「前期実施計画」ページの見方	1
①学び	2
②文化・スポーツ	22
③子育て	27
④健康・医療	40
⑤福祉	55
⑥雇用	68
⑦農林業	72
⑧商工業	86
⑨観光	96
⑩環境・エネルギー	107
⑪安全・安心	113
⑫雪対策	120
⑬都市基盤	124
⑭景観・文化財	136
⑮移住・交流	145
⑯市民協働	151

## 3 安全・安心な上下水道の構築

## 1) 安全で安定した水道水の供給

事務事業名 ①老朽管更新事業		水道事業会計		所管部課名	上下水道部工務課
現状と課題	事業創設時に布設された鑄鉄管等の老朽化が著しく、漏水発生や管路破損による漏水事故などの原因となっていることから、安全で安定した水道水を供給するため、老朽管の布設替え(更新)が必要となっています。	事業の概要	①事業の目的・内容 ＜目的＞ 布設後20年以上経過した鑄鉄管等を耐震管へ布設替えし、水道水の安定供給や漏水防止を図ります。 ＜内容＞ ・配水管布設替 φ75～600 L=13,961m ・給水管切替 N=887箇所 ・消火栓設置 N=56基		②期待できる効果 新たに耐震管へ布設替えすることで、地震等の災害に強い水道施設が構築され、水道水の安定供給や漏水防止による有効率の向上を図ることができます。
活動内容	2019年度 ・配水管布設替 φ75～500 L=2,310m ・給水管切替 N=118箇所 ・消火栓設置 N=10基	2020年度 ・配水管布設替 φ75～300 L=3,007m ・給水管切替 N=241箇所 ・消火栓設置 N=24基	2021年度 ・配水管布設替 φ75～500 L=2,550m ・給水管切替 N=210箇所 ・消火栓設置 N=10基	2022年度 ・配水管布設替 φ75～600 L=5,160m ・給水管切替 N=260箇所 ・消火栓設置 N=8基	
	事業費： 627,000 千円	事業費： 627,110 千円	事業費： 627,111 千円	計画事業費： 627,110 千円	

事務事業名 ②主要管路耐震化事業		水道事業会計		所管部課名	上下水道部工務課
現状と課題	基幹病院や避難所等は、地震等の災害時においてもライフラインの確保が非常に重要であることから、安全で安定した水道水を供給するために、配水池から拠点施設までの配水管を布設替えし、耐震化する必要があります。	事業の概要	①事業の目的・内容 ＜目的＞ 災害時における重要な拠点となる基幹病院、避難所等への配水管を計画的に耐震管へ布設替えし、水道水の安定供給を図ります。 ＜内容＞ ・主要管路耐震化 φ75～600 L=6,453m ・給水管切替 N=350箇所 ・消火栓設置 N=16基		②期待できる効果 新たに耐震管へ布設替えすることで、地震等の災害に強い水道施設が構築され、拠点施設へのライフラインの確保による水道水の安定供給を図ることができます。
活動内容	2019年度 ・主要管路耐震化 φ100～300 L=1,190m ・給水管切替 N=92箇所 ・消火栓設置 N=6基	2020年度 ・主要管路耐震化 φ75～300 L=1,250m ・給水管切替 N=76箇所 ・消火栓設置 N=2基	2021年度 ・主要管路耐震化 φ75～500 L=1,045m ・給水管切替 N=28箇所 ・消火栓設置 N=2基	2022年度 ・主要管路耐震化 φ100～600 L=2,610m ・給水管切替 N=130箇所 ・消火栓設置 N=5基	
	事業費： 250,000 千円	事業費： 250,840 千円	事業費： 250,841 千円	計画事業費： 250,840 千円	

事務事業名 ③樋の口浄水場等建設事業		水道事業会計		所管部課名	上下水道部工務課
現状と課題	稼働から約50年が経過している樋の口浄水場及び常盤坂増圧ポンプ場並びに岩木川取水ポンプ場は、老朽化による経年劣化が著しく、耐震性も不足しているため、災害時には日常生活や社会活動に重大な影響を及ぼす状況となっているため、更新が急務となっています。	事業の概要	①事業の目的・内容 ＜目的＞ 官民連携により樋の口浄水場及び常盤坂増圧ポンプ場並びに岩木川取水ポンプ場を更新し、また、施設規模を将来の水需要を考慮してダウンサイジングします。 ＜内容＞ ・アドバイザー業務 ・樋の口浄水場等建設事業(DBO方式) ・モニタリング支援業務		②期待できる効果 施設の更新により、地震等の災害時においても、基幹施設として水道水の安定供給が図られ、安全・安心が確保でき市民のいのちとくらしが守られます。
活動内容	2019年度 ○アドバイザー業務 ・要求水準書等作成 1式	2020年度 ○樋の口浄水場等建設事業 ・設計 1式 ○モニタリング支援業務 ・設計監理支援 1式	2021年度 ○樋の口浄水場等建設事業 ・設計 1式 ・工事 1式 ○モニタリング支援業務 ・設計監理支援 1式 ・工事監理支援 1式	2022年度 ○樋の口浄水場等建設事業 ・工事 1式 ○モニタリング支援業務 ・工事監理支援 1式	
	事業費： 15,000 千円	事業費： 319,759 千円	事業費： 340,632 千円	計画事業費： 864,655 千円	

事務事業名 ④水道施設老朽化対策事業		水道事業会計		所管部課名	上下水道部上水道施設課
現状と課題	水道施設には、樋の口浄水場のほかに浄水施設や増圧ポンプ場などの水道施設が点在し、その多くが耐用年数を超えている状況となっていることから、計画的な更新が必要となっています。	事業の概要	①事業の目的・内容		②期待できる効果
			<p>&lt;目的&gt; 点在する老朽化した水道施設(小規模増圧ポンプ場)の更新を行い、災害に強い水道施設を構築します。</p> <p>&lt;内容&gt; 事業期間:2019年度～2027年度(9年間) 総事業費:923,780千円 事業内容: ・小規模増圧ポンプ場更新基本設計 10,780千円 ・原ヶ平配水ポンプ場等詳細設計 50,000千円 ・原ヶ平配水ポンプ場建設工事(土木建築) 173,000千円 ・原ヶ平配水ポンプ場建設工事(電気機械) 209,000千円 ・配水管布設工事(その1) 359,000千円 ・配水管布設工事(その2) 122,000千円</p>		施設の更新により、耐震化が図られ、地震などの災害時においても安定供給が可能となることで、安全・安心な水道水が確保されます。
活動内容	2019年度 小規模増圧ポンプ場更新基本設計業務 1式	2020年度 小規模増圧ポンプ場更新実施設計業務 1式	2021年度 原ヶ平配水ポンプ場等詳細設計業務 1式	2022年度 原ヶ平配水ポンプ場建設工事(土木建築) 1式	
	事業費: 12,000 千円	事業費: 50,000 千円	事業費: 50,000 千円	計画事業費: 173,000 千円	

事務事業名 ⑤水質監視システム整備事業		水道事業会計		所管部課名	上下水道部上水道施設課
現状と課題	水道は市民の生活基盤として欠くことのできないライフラインとなっていますが、これまでは「安全な水道水をいつでも利用できる」ことをあたりまえのこととらえ、特に高い関心を持つ利用者の割合は多くはありませんでした。 しかし、近年、台風や地震など大規模な自然災害による被害の発生を受け、利用者の水道水に対する関心は高まっており、特に水道水の安全性・安定供給に対するニーズは、非常に高くなっています。	事業の概要	①事業の目的・内容		②期待できる効果
			<p>&lt;目的&gt; 供給側である浄水施設への水質計器整備が完了したので、利用者に密接に関係する配水施設、管末の監視を強化し、更なる安全性の確保へとつなげます。</p> <p>&lt;内容&gt; ・原ヶ平配水池水質計設置</p>		万一、水質異常が発生した場合にも、早期発見による迅速な対応が可能となり、水道水の更なる安全・安心が確保されます。
活動内容	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 原ヶ平配水池水質計設置 1式	
	事業費:	事業費:	事業費:	計画事業費: 6,500 千円	

事務事業名 ⑥上下水道PR事業		水道事業会計、下水道事業会計		所管部課名	上下水道部総務課
現状と課題	人口減少等により料金収入が減少している中で、施設の耐震化や老朽化した施設の改築・更新需要が増大するため、施設の統廃合やライフサイクルコストの最小化を図り、長寿命化対策を含めた計画的な改築・更新をしながら、必要な資金を確保する必要があります。 また、料金や快適さなど市民生活に直接関わることから、上下水道事業に対する市民の理解度向上が必要となっています。	事業の概要	①事業の目的・内容		②期待できる効果
			<p>&lt;目的&gt; 上下水道事業のPR活動を行い、重要性や必要性の理解度向上を図るほか、市民のニーズの把握に取り組みます。</p> <p>&lt;内容&gt; ・イベント開催によるPR活動 ・施設見学会 ・アンケート等実施</p>		上下水道事業の重要性や必要性に対する市民の理解度が向上します。 また、安全な水道水の供給や下水道により衛生的で快適な生活を送れることに対する市民の満足度が向上します。
活動内容	2019年度 ・水道週間の開催 ・カルチャロードへの出展 ・上下水道施設見学等の開催	2020年度 ・水道週間の開催 ・カルチャロードへの出展 ・上下水道施設見学等の開催	2021年度 ・水道週間の開催 ・カルチャロードへの出展 ・上下水道施設見学等の開催	2022年度 ・水道週間の開催 ・カルチャロードへの出展 ・上下水道施設見学等の開催	
	事業費: 532 千円	事業費: 880 千円	事業費: 809 千円	計画事業費: 809 千円	

## 2) 下水道の整備による快適な生活環境の確保

事務事業名		下水道事業会計		所管部課名	上下水道部工務課
現状と課題	①公共下水道建設事業				
	未普及地区の生活環境の改善と公共用水域の水質保全のため、整備を進めています。さらなる下水道普及率の向上を図るため、下水道整備が急務となっています。		①事業の目的・内容 ＜目的＞ 生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図るため、下水道未整備地区の整備を実施し、快適な生活環境の確保と公共用水域の水質保全を図ります。 ＜内容＞ ○未整備地区 ・管路工事 L=4,712m ・実施設計業務 1式 ○相馬処理区(統合) ・管路工事 L=1,580m ・マンホールポンプ場 1式 ・事業計画 1式 ・実施設計業務 1式		
		②期待できる効果 公共下水道の整備により、快適な生活環境の確保と公共用水域の水質保全が図られます。			
活動内容	2019年度		2020年度		2021年度
	○未整備地区 ・管路工事 1式 L=730m ・実施設計業務 1式 ○相馬処理区(統合) ・事業計画 1式		○未整備地区 ・管路工事 1式 L=632m ・マンホールポンプ場 1式 ・負担金 1式 ○相馬処理区(統合) ・実施設計業務 1式		○未整備地区 ・管路工事 L=1,350m ○相馬処理区(統合) ・管路工事 L=940m ・マンホールポンプ場 1式
	事業費： 91,587 千円		事業費： 128,549 千円		事業費： 258,000千円 (2020年度繰越分 20,000千円)
				2022年度	
				○未整備地区 ・管路工事 1式 L=2,000m ・補償費 1式 ○相馬処理区(統合) ・管路工事 1式 L=640m ・マンホールポンプ場 1式	
				計画事業費： 336,000 千円	

事務事業名		②管渠改築事業		下水道事業会計		所管部課名		上下水道部工務課				
現 状 と 課 題	布設年度の早い地区から、能力確保と延命化を図るための管渠の更生を実施しています。経年劣化により機能が著しく低下している管渠は、不明水の侵入や破損及びこれに起因する舗装補修等が顕著化している状況となっていることから、事業促進が課題となっています。			事業の概要	①事業の目的・内容 ＜目的＞ 老朽化が著しい下水道管渠の更生工事や布設替え工事による能力確保と延命化を図り、併せて、中部処理区及び駅前地区の点検調査を進めます。 ＜内容＞ ○桜ヶ丘地区 ・管渠布設替 L=190m ・人孔蓋更新 N=86箇所 ・取付管布設替 N=172箇所 ○南横町地区(駅前地区) ・内部調査業務 1式 ・修繕改築計画策定業務 1式 ・実施設計業務 1式 ・管渠更生及び管路布設替 L=2,374m ・人孔蓋更新 N=105箇所 ・取付管布設替 N=210箇所 ○鍛冶町地区(中部・東部処理区) ・内部調査業務 1式 ・修繕改築計画策定業務 1式 ・実施設計業務 1式 ・管渠更生 L=800m			②期待できる効果 管渠の更生工事や布設替え工事を実施することにより、能力確保と延命化を図ることができます。				
活 動 内 容	2019年度			2020年度			2021年度			2022年度		
	○南横町地区(駅前地区) ・実施設計業務(管渠) 1式 ○鍛冶町地区(中部・東部処理区) ・内部調査業務 1式			○桜ヶ丘地区 ・管渠布設替 1式 L=190m ・人孔蓋更新 1式 N=86箇所 ・取付管布設替 1式 N=172箇所 ○南横町地区(駅前地区) ・内部調査業務 1式 ・管渠更生 L=962m ○鍛冶町地区(中部・東部処理区) ・内部調査業務 1式 ・修繕改築計画策定業務 1式			○南横町地区(駅前地区) ・管渠更生 L=1,047m ・修繕改築計画策定業務 1式 ○鍛冶町地区(中部・東部処理区) ・実施設計業務 1式			○南横町地区(駅前地区) ・管渠更生 L=320m ・管路布設替 L=45m ・人孔蓋更新 N=105箇所 ・取付管布設替 N=210箇所 ○鍛冶町地区(中部・東部処理区) ・管渠更生 L=800m		
	事業費： 22,307 千円			事業費： 149,969千円 (2019年度繰越分 79,692千円)			事業費： 96,000千円 (2020年度繰越分 40,000千円)			計画事業費： 234,200 千円		

事務事業名		③公共下水道処理施設等改築事業		下水道事業会計		所管部課名		上下水道部下水道施設課							
現 状 と 課 題	弘前市下水処理場は県の岩木川浄化センターとの施設統合後、一部合流区域の雨水処理施設として稼働していますが、設備については耐用年数を超え老朽化が著しい状況となっています。 また、施設の耐震性能不足や壁・屋根等の経年劣化についても著しい状況となっています。 今後、人口減少や節水意識の高まりなどに伴う料金収入の減少や、震災などの影響による労務費や資機材などが高騰していることから、耐用年数を超えた施設の改築需要の増大に対する対応が課題となっています。			事業の概要	①事業の目的・内容			②期待できる効果							
					<目的> 耐用年数を超えて老朽化が著しい機械設備や電気設備等について、計画的に改築を実施し、施設能力の確保を図ります。 また、災害にも強い下水道施設を構築するため、施設の耐震診断及び浸水調査を実施することにより、最適な補強工事を選定し、耐震化と浸水対策を図ります。 <内容> ・事業期間：2019年度～2025年度 ・総事業費：1,204,848千円 事業内容： ○弘前市下水処理場（流入施設） ・修繕・改築計画策定・改築実施設計 1式 ・機械・電気設備改築・耐震補強・耐水化 1式			機械設備や電気設備の改築や最適な補強工事と浸水対策を実施することにより、適正な施設能力が確保され、安定かつ効率的な施設の運転管理や施設の耐震化と浸水対策が図れ、市民が快適に暮らすことができます。							
活 動 内 容	2019年度			2020年度			2021年度								
	○弘前市下水処理場（流入施設） ・修繕・改築調査計画 1式			○弘前市下水処理場（流入施設） ・修繕・改築調査計画 1式			○弘前市下水処理場（流入施設） ・改築実施設計業務 1式								
事業費：		35,000 千円		事業費：		0千円 (2019年度繰越分 40,000千円)		事業費：		65,000 千円		計画事業費：		170,000 千円	

事務事業名 ④マンホールポンプ場改築事業		下水道事業会計		所管部課名	上下水道部下水道施設課
現状と課題	市内各所に設置されているマンホールポンプ場は、1987年から整備が始まり、2020年度末で444箇所に設置されています。 耐用年数を超えた設備が多くなっており、老朽化による機能低下や不具合に加え、突発的な故障が生じています。 施設の保有箇所数が多いことから、施設の重要度を考慮した事業費の平準化が課題となっています。	事業の概要	①事業の目的・内容		②期待できる効果
			<p>&lt;目的&gt; 耐用年数を超えて機能低下が著しいマンホールポンプ場について、計画的に改築を実施し、施設能力の確保を図ります。</p> <p>&lt;内容&gt; 計画期間総事業費(2019年度～2022年度):274,500千円 事業内容: ○公共下水道 ・マンホールポンプ場改築 1式 ○農業集落排水施設 ・マンホールポンプ場改築 1式 ・機械・電気設備詳細診断調査 1式</p>		マンホールポンプ設備の改築を計画的に実施することにより、適正な施設能力が確保され、安定かつ効率的な運転管理が図れ、市民が快適に暮らすことができます。
活動内容	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
	○公共下水道 ・マンホールポンプ設備更新工事 1式 ○農業集落排水施設 ・マンホールポンプ設備更新工事 1式	○公共下水道 ・マンホールポンプ設備更新工事 1式 ○農業集落排水施設 ・マンホールポンプ設備更新工事 1式	○公共下水道 ・マンホールポンプ設備更新工事 1式 ○農業集落排水施設 ・マンホールポンプ設備更新工事 1式	○公共下水道 ・マンホールポンプ設備更新工事 1式 ○農業集落排水施設 ・マンホールポンプ設備更新工事 1式 ・機械・電気設備詳細診断調査業務 1式	
	事業費: 41,000 千円	事業費: 56,000 千円	事業費: 77,500 千円	計画事業費: 100,000 千円	

事務事業名 ⑤農業集落排水処理施設等改築事業		下水道事業会計		所管部課名	上下水道部下水道施設課
現状と課題	農業集落排水事業及び小規模集合排水処理施設整備事業で整備された汚水処理施設については、設備が耐用年数を超えたものが多く、老朽化による不具合が生じ、機能低下が著しい状況となっています。 今後、人口減少や節水意識の高まりなどに伴う料金収入の減少や、震災などの影響による労務費や資機材などが高騰していることから、耐用年数を超えた施設の改築需要の増大に対する対応が課題となっています。	事業の概要	①事業の目的・内容		②期待できる効果
			<p>&lt;目的&gt; 耐用年数を超えて老朽化が著しい機械設備や電気設備について、計画的に改築を実施し、施設能力の確保を図ります。</p> <p>&lt;内容&gt; 計画期間事業費(2019年度～2022年度):120,500千円 事業内容: ○農業集落排水処理施設 ・機械・電気設備改築 1式 ・機械・電気設備詳細診断調査 1式 ○小規模集合排水処理施設 ・機械・電気設備改築 1式</p>		機械設備や電気設備の改築を実施することにより、適正な施設能力が確保され、安定かつ効率的な施設の運転管理が図れ、市民が快適に暮らすことができます。
活動内容	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
	○農業集落排水処理施設 ・機械・電気設備更新工事 1式 ○小規模集合排水処理施設 ・機械・電気設備更新工事 1式	○農業集落排水処理施設 ・機械・電気設備更新工事 1式 ○小規模集合排水処理施設 ・機械・電気設備更新工事 1式	○農業集落排水処理施設 ・機械・電気設備更新工事 1式 ・機械・電気設備詳細診断調査業務 1式	○農業集落排水処理施設 ・機械・電気設備更新工事 1式 ・機械・電気設備詳細診断調査業務 1式	
	事業費: 23,000 千円	事業費: 33,000 千円	事業費: 34,500 千円	計画事業費: 30,000 千円	

事務事業名 ⑥上下水道PR事業(再掲)		水道事業会計、下水道事業会計		所管部課名	上下水道部総務課
現状と課題	人口減少等により料金収入が減少している中で、施設の耐震化や老朽化した施設の改築・更新需要が増大するため、施設の統廃合やライフサイクルコストの最小化を図り、長寿命化対策を含めた計画的な改築・更新をしながら、必要な資金を確保する必要があります。 また、料金や快適さなど市民生活に直接関わることから、上下水道事業に対する市民の理解度向上が必要となっています。	事業の概要	①事業の目的・内容		②期待できる効果
			<p>&lt;目的&gt; 上下水道事業のPR活動を行い、重要性や必要性の理解度向上を図るほか、市民のニーズの把握に取り組みます。</p> <p>&lt;内容&gt; ・イベント開催によるPR活動 ・施設見学会 ・アンケート等実施</p>		上下水道事業の重要性や必要性に対する市民の理解度が向上します。 また、安全な水道水の供給や下水道により衛生的で快適な生活を送れることに対する市民の満足度が向上します。
活動内容	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
	・水道週間の開催 ・カルチャロードへの出展 ・上下水道施設見学等の開催	・水道週間の開催 ・カルチャロードへの出展 ・上下水道施設見学等の開催	・水道週間の開催 ・カルチャロードへの出展 ・上下水道施設見学等の開催	・水道週間の開催 ・カルチャロードへの出展 ・上下水道施設見学等の開催	
	事業費: 532 千円	事業費: 880 千円	事業費: 809 千円	計画事業費: 809 千円	